



「公認会計士の日」

# 記念講演会



日時

2024年7月8日(月)

15:00~17:00(開場 14:00)

場所

ホテルコレクティブ2階 大宴会場  
那覇市松尾2-5-7 TEL 098-860-8366

テーマ

ESGからインパクトへ ~  
サステナビリティ情報開示のその先へ

講師：水口 剛 氏  
高崎経済大学 学長

7月6日は公認会計士の日

●● 信頼の力を未来へ

jicpa



日本公認会計士協会 沖縄会

# 記念講演会のご案内

拝啓 盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび講演テーマ、「ESGからインパクトへ ～ サステナビリティ情報開示のその先へ」と題しまして、講師に高崎経済大学学長 水口剛先生をお招きし、記念講演会を開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

沖縄県におけるサステナビリティ、ESGへの取り組みにおいて進展している点は、豊かな自然環境の保護活動や再生可能エネルギーの導入、廃棄物の削減など、環境への負荷を軽減する取り組みが進んでいること、また、県内企業や自治体では、地域社会に対する貢献を重視する観点から、地域コミュニティへの投資や地域活性化プロジェクトなどが行われていることなどが挙げられます。さらに企業や自治体の経営の透明性や責任の向上が求められているなか、ガバナンスの強化に向けた取り組みも進んでいます。一方、開発と自然環境保護、子供の貧困問題など社会的課題の解決や中小企業のガバナンス向上など、さらなる取り組みも必要な状況です。地域の特性や課題に即した具体的な取り組みが求められるなか、持続可能な発展に向けた取り組みを継続していくことが重要だと思います。

2023年1月31日、企業内容等の開示に関する内閣府令等の改正により、有価証券報告書等において、「サステナビリティに関する考え方及び取組」の記載欄を新設し、サステナビリティ情報の開示が求められることとなり、県内上場企業などは情報開示を行っていますが、県内中小企業の取り組み状況など情報開示はさらなる進展が必要な状況です。

こうした中、私たち公認会計士は、資本市場の信頼性を担保する役割を担う観点から様々な取り組みを行っているところであり、現在は諸外国の動向も踏まえつつ、サステナビリティに関する情報開示基準策定への参画やサステナビリティ情報に対する保証を担う観点から様々な取り組みを行っており、多くの公認会計士にとりましてもサステナビリティに関する知見を得ることが必須となる状況だと認識しています。

水口先生のご講演は、まさしくサステナビリティへの取り組みを行う企業、自治体等の皆様方や公認会計士にとりましてもこれらの知見を得る大変貴重な機会になるものと思いますので、県内企業等や会員準会員の皆さま、多くの関係者の皆さま方のご参加を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

敬具

2024年7月吉日

日本公認会計士協会沖縄会  
会長 金沢 信昭

## 講演テーマ

# ESGからインパクトへ ～ サステナビリティ情報開示のその先へ

みず ぐち たけし  
講師：水口 剛 氏  
(高崎経済大学 学長)

## 講演概要

有価証券報告書に新たにサステナビリティに関する記載欄が設けられ、国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) が最初の国際基準を公表するなど、サステナビリティ情報開示の制度化が進展しています。その背景には、ESG投資やサステナブルファイナンスといった投資家行動の変化があります。サステナビリティ情報開示の進展は、投資家の情報ニーズの変化を反映したものだと言ってよいでしょう。そして投資家の関心はESGからインパクトへと、さらに進化し始めています。それと軌を一にして、ビジネス側ではインパクトスタートアップが、地域金融の分野ではポジティブ・インパクト・ファイナンスが注目を集めています。今まさに動き始めたインパクトエコノミーの潮流についてお話します。

## 講師略歴

筑波大学卒。商社、監査法人等の勤務をへて、1997年高崎経済大学経済学部講師。2008年教授、2021年より現職。専門は責任投資(ESG投資)、非財務情報開示。環境省「グリーンファイナンスに関する検討会」座長、金融庁「サステナブルファイナンス有識者会議」座長、インパクトコンソーシアム会長、日本公認会計士協会「サステナビリティ能力開発協議会」委員等を歴任。主な著書に『ESG投資－新しい資本主義のかたち』(日本経済新聞出版社)、『責任ある投資－資金の流れで未来を変える』(岩波書店)、『サステナブルファイナンス最前線』(編著、きんざい)など。